

越谷に体感型単独展示場

宿泊できる最新モデルハウス

ポラスグループ

ポラスグループ（埼玉県越谷市、中内晃次郎社長）で注文住宅を手掛けるポラテック（同）、グローバルホーム（同）は3日、越谷市内にポラスグループ単独展示場「体感すまいパーク越谷」を開設した。単独展示場としては、2018年の船橋、柏、21年の東浦和に続く4カ所目。最新モデルハウス4棟と不動産情報拠点を構える。

体感すまいパーク越谷には、注文住宅ブランド「PO HAUS（ポウハウス）」の「和美庵」と「ARZ ILL（アルジール）」の2タイプ、「北辰工務店」「HaS ca sa（ハスカサ）」の合計4棟を構える。アルジール以外の3棟は宿泊体験が可能だ。ポラテックの橋本裕



宿泊体験で理想の住宅を探せる
体感すまいパーク越谷

4つのモデルハウスはいずれも省エネ、省電力に優れ、4棟とも太陽光発電を搭載。各住宅とも、高性能耐力壁「Endure Wall」など、ポラスグループの独自の技術が盛り込まれている。今後は、総合展示場からの送客体制を整えていく。

が特徴。趣味の部屋や在宅ワークに使用できる。北辰工務店は「家事楽」がテーマ。家事動線にもこだわり、自宅時間が長くなる近年の暮らし方でも家事の負担を軽減する。ハスカーサは南欧風デザインで地元を中心に144組が来場。オープン直後の来場者数は、東浦和開設時の約1.4倍となった。

一木造建築事業部長は「越谷では3つの建物に宿泊体験できることがコンセプトの一つ。実際に宿泊し、どのような過ごし方ができるかを体験してから住宅を決めてもらいたい」と話す。またグローバルホームの小牧敏治部長は「グローバルホームとしては年間24棟の受注を目標とする」と

の見通しを明かした。展示場全体としても年間120棟の契約目標を設定している。センターハウスでは、土地探しや不動産関連の相談にワンストップで対応できる「宅地建物課」を配備。「若い世代の土地探しにタイムリーに対応していく」（橋本部長）。

近隣の総合展示場と

地元密着の展開も重視しており、地元農家と連携したファーマーズマーケット開催などにより地域住民の交流の場も提供し、越谷市の発展に貢献する考えだ。

和美庵は「おうち旅館」がテーマの和モダン。住まい手に旅館のようなくつろぎを提供する。アルジールは内庭を機能的に活用し、庭を挟んだ「離れ家」